

傾斜角度とCobb角の研究

・今井 充、神保 静夫、小林 徹也：モバイルデバイスを用いたIntelligent型脊柱側弯症発見装置 (i-Scolioroller)の開発と有用性の検討、Journal of spine Research, 2017; 8 (11) : 1720-1725



・神保 静夫、今井 充、小林 徹也：脊柱側弯症発見装置(i-Scolioroller)を用いた側弯検査の精度を高める取り組み-左右傾斜角和(sum-ATI)を計測値として-、Journal of spine Research, 2018; 9 (11) : 1588-1592



DENCOM

脊柱側弯症検査用機器

ScolioDevice

スコリオデバイス モデルSD-1

脊柱側弯症をスクリーニングする角度測定機器

製品仕様

商品名	スコリオデバイス モデルSD-1	医療機器管理クラス分類	一般医療機器
型式	DSAMB-1A	医療機器届出番号	01B3X1000500001
寸法・重量	約W226mm×H120mm×D300mm、約500g		
使用電源	単3アルカリ乾電池 (LR6/AA) × 2本		
定格電圧	DC3V		
定格消費電流	60mA		
外装材	ABS樹脂、PVC		
使用環境条件	温度：5～40℃ 湿度：85%RH (結露無き事)		
保存環境条件	温度：5～50℃ 湿度：85%RH (結露無き事)		
表示	デジタル液晶表示、LED表示		
測定範囲	腰部傾斜角度 左右：0～25°		
	左右合計値：0～50°		
表示単位	1° 単位		
検出精度	±1° (小数点以下切り捨てのため)		

※ 製品仕様は新りなく変更する場合がございます。ご了承ください。

主なセット内容

スコリオデバイス (本体) 1台

付属品

取扱説明書 (保証書付き) 1部

測定ポースト 1枚

測定結果について/測定方法について 1枚



DENCOM 電制コムテック株式会社



製品HPはこちら

医療機器製造業 (登録番号：01B2Z00043)
第三種 医療機器製造販売業 (許可番号：01B3X10005)

住所 〒067-0051 北海道江別市工業町9-13
電話 0120-422-102 (土・日・祝日、その他弊社休業日を除く)
FAX 011-380-2123 受付時間は、弊社ホームページをご確認ください。
HP <https://www.dencom.co.jp>

脊柱側弯症の前屈検査をサポート

腰部から背部にかけて、真直ぐローラー部を転がすだけで左右非対称変形の最大傾斜角度を表示

スコリオデバイスは

運動器学校検診などで行われる**脊柱側弯症の前屈検査用**一般医療機器です。前屈姿勢の背部にローラー部を真直ぐ転がすことで、**左右の最大傾斜角度**を自動検知し、表示する装置です。

特長

着衣のまま 検査ができる

- ・プライバシー配慮に関する負担が軽減されます。
- ・脱衣場所の準備などの手間や時間を軽減します。

最大背面傾斜角度を測定

- ・ローラー部を背部に真直ぐ転がすだけで、背部左右の最大傾斜角度を検知し表示。さらに左右それぞれの最大傾斜角度の合計値も表示します。

一人あたり 5~10秒で測定

- ・ローラー部を背部に真直ぐ転がすだけなので、一人あたりの検査時間を大幅短縮 ※当社仕様により

操作が簡単、だれでも使える

- ・専門的な技術習得の必要がなく、だれでも簡単に操作ができます。

軽量・片手で持てる コンパクト形状

- ・片手で持てるコンパクトな形状で、重量も約500gと軽量です。
- ・測定時の操作だけでなく、持ち運びも容易です。

目視ではできなかった角度の数値化

- ・測定結果の角度をデジタルで見やすく表示します。

スコリオデバイスの使い方

1. 準備

被験者（生徒児童）は、膝を伸ばしたままで深くお辞儀をした姿勢を取り肩の力を抜いて両方の手の平を合わせる。



[横から見た姿勢]



[正面から見た姿勢]

2. 測定

検査者は、被験者の頭部側に立ち、本装置のローラー部を腰部に当て測定ボタンを押しながら真直ぐに肩口まで転がし測定ボタンから指を離す。



腰部に当て、測定ボタンを押す

測定ボタンを押したまま転がす

肩口まで来たら測定ボタンから指を離す

3. 確認・測定終了

本装置の表示部に、背部の最大非対称箇所が角度が表示される。測定終了。



[表示部拡大写真]

表示部の説明

R表示 : 右上がり最大傾斜角度
R+L表示 : 左右最大傾斜角度合計
L表示 : 左上がり最大傾斜角度

左右のLEDランプ：
測定中の傾斜角を2°単位で
最大10°まで表示